

製品名: フィブリン-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10978**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	FBLN2
別名	FBLN2; Fibulin-2; FIBL-2
遺伝子 ID	2199.0
SwissProt ID	P98095
免疫原	抗血清はヒト FBLN2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

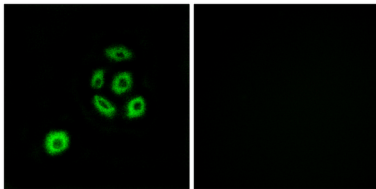
背景

この遺伝子は、フィブリンファミリーに属する細胞外マトリックスタンパク質をコードしています。このタンパク質は、様々な細胞外リガンドおよびカルシウムと結合します。臓器発生、特に心臓、骨格、神経構造の分化において役割を果たすと考えられます。異

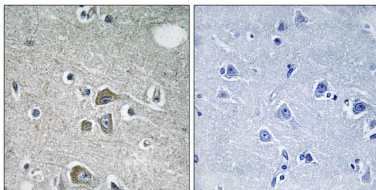
なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。 [RefSeq 提供、2008年7月],発生段階: 胚発生中に広く発現します。主に神経上皮、脊髄神経節、末梢神経で検出されます。機能: フィブロネクチンおよび他のいくつかのリガンドへの結合はカルシウム依存性です。類似性: フィブリンファミリーに属します。類似性: 11個のEGF様ドメインを含みます。類似性: 3個のアナフィラトキシン様ドメインを含みます。サブユニット: ホモ三量体;ジスルフィド結合。LAMA2と相互作用する。組織特異性: 基底膜およびその他の結合組織の構成要素。心臓、胎盤、卵巣に発現する。、

研究分野

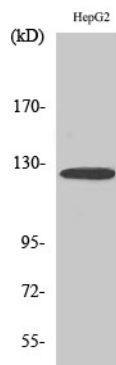
画像データ



FBLN2抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



FBLN2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



フィブリン-2ポリクローナル抗体を1:500に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。